

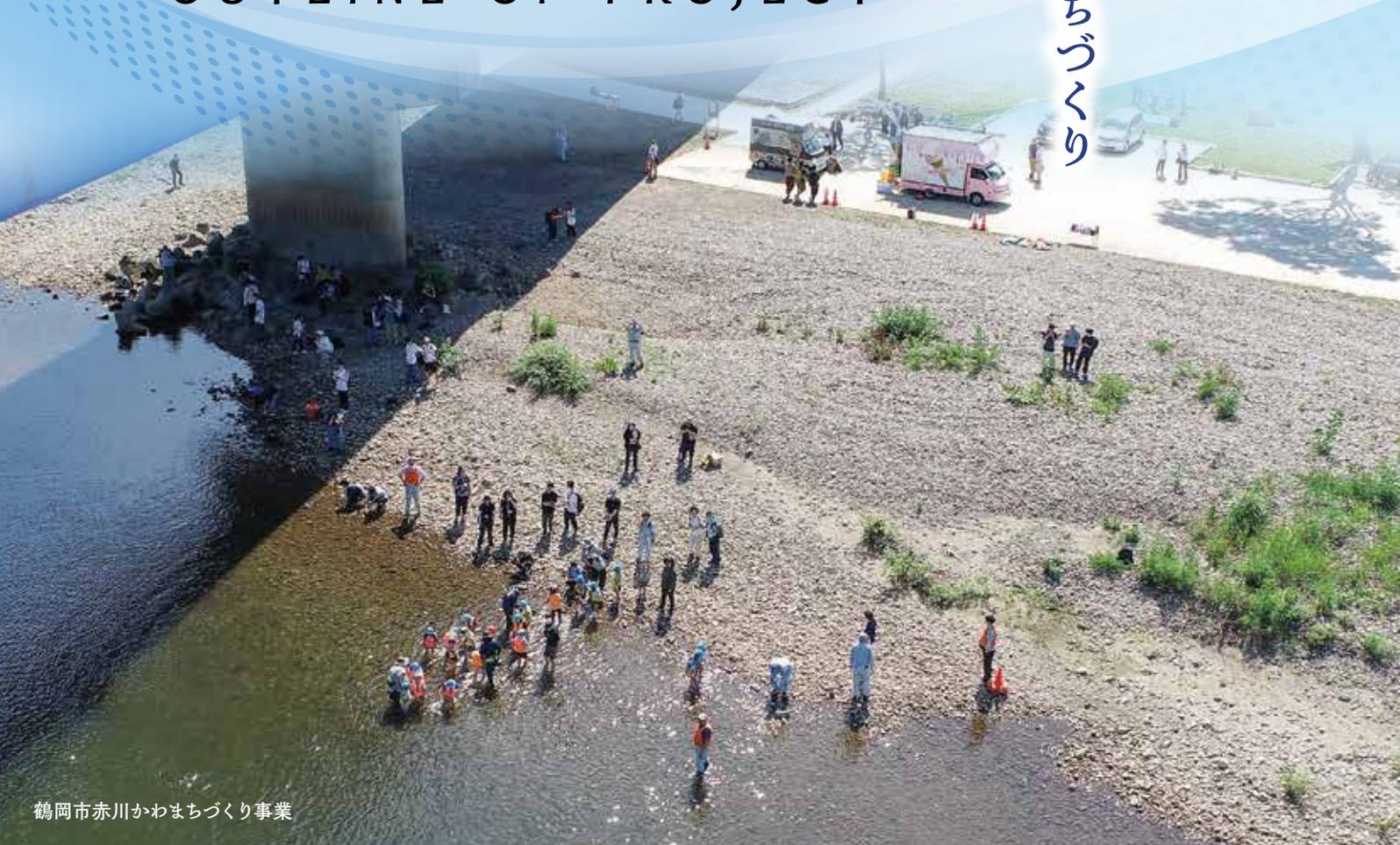


たくましい国土

未来へ続くまちづくり

2025 業務概要

OUTLINE OF PROJECT



鶴岡市赤川かわまちづくり事業



[酒田河川国道事務所の使命]

川づくり 道づくりを通じ、地域のさらなる発展に向け、心をこめてお手伝いします。

それが私たちに与えられた使命と信じています。

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所では、山形県庄内地方において「最上川」と「赤川」の河川事業、国道7号、国道47号、国道112号、日本海沿岸東北自動車道(日沿道)、新庄酒田道路の道路事業による社会基盤の整備を通じて、地域の生活とかかわり続けています。

災害に強く、安心して快適に暮らせる地域づくりのために、地域のみなさんと一緒に事業を進めてまいります。

- ① 災害に備え、地域を守る危機管理
- ② 安全・安心をもたらすインフラの活用と管理
- ③ 地域の発展に資するインフラの整備
- ④ 地域づくり支援

目次

◆ 酒田河川国道事務所の概要 (P2)

◆ 河川事業 (P3～P6)

- 令和6年7月出水の再度災害防止に向けて(最上川下流・中流 緊急治水対策プロジェクト)
- 住民の生命と財産を守る(最上川下流大規模災害関連事業、赤川中流部河道掘削事業他)
- 自然との交流・賑わい・健康づくりのレクリエーション拠点(鶴岡市赤川かわまちづくり事業)
- 河川の維持管理

◆ 道路事業 (P7～P16)

- 広域交流の促進、地域活性化を支援する高規格道路ネットワークの整備
- 快適で円滑な交通の確保(渋滞対策・交通事故対策事業)
- 道路の維持管理

◆ 危機管理 (P17)

- 災害対応

◆ 地域づくり (P18)

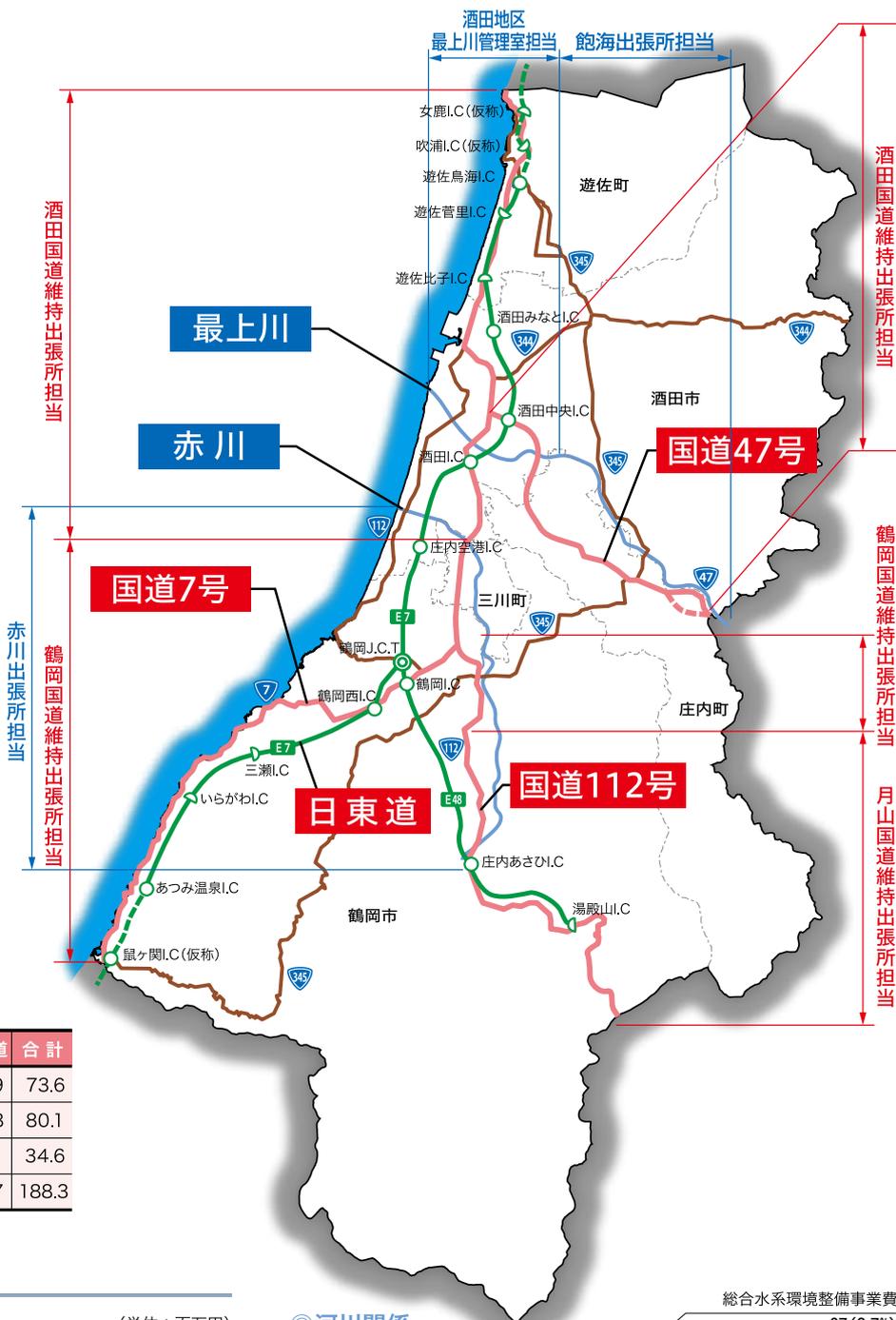
- 地域との連携(ボランティア活動、学習支援等)

酒田河川国道事務所の概要

【河川管理延長 (km)】

最上川				
河川名	本川	京田川	立谷沢川	相沢川
酒田地区最上川管理室	12.9	4.2	-	-
飽海出張所	18.1	-	0.5	1.5
計	37.2 (最上川本川31.0)			

赤川			
河川名	本川	内川	大山川
赤川出張所	33.0	2.0	2.5
計	37.5		



【道路管理延長 (km)】

	7号	47号	112号	日東道	合計
酒田国道維持出張所	36.5	25.2	-	11.9	73.6
鶴岡国道維持出張所	47.2	-	8.1	24.8	80.1
月山国道維持出張所	-	-	34.6	-	34.6
合計	83.7	25.2	42.7	36.7	188.3

令和7年度事務所事業費

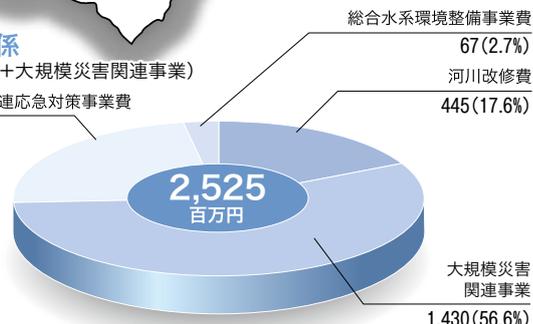
【当初予算】

(単位：百万円)

区分	令和7年度 当初事業費	大規模災害 関連事業 (令和6年度補正)	計
河川	河川改修費	445	-
	河川等災害関連事業費	-	1,430
	河川工作物関連応急対策事業費	583	-
	総合水系環境整備事業費	67	-
	計	1,095	1,430
道路	改築関係事業費	12,110	-
	道路環境整備事業費(交通安全事業等)	539	-
	計	12,649	-
合計	15,174	-	-

◎河川関係

(当初予算+大規模災害関連事業)
河川工作物関連応急対策事業費
583(23.1%)



◎道路関係 (当初予算)

道路環境整備事業費(交通安全事業等)
539(4.3%)
改築関係事業費
12,110(95.7%)

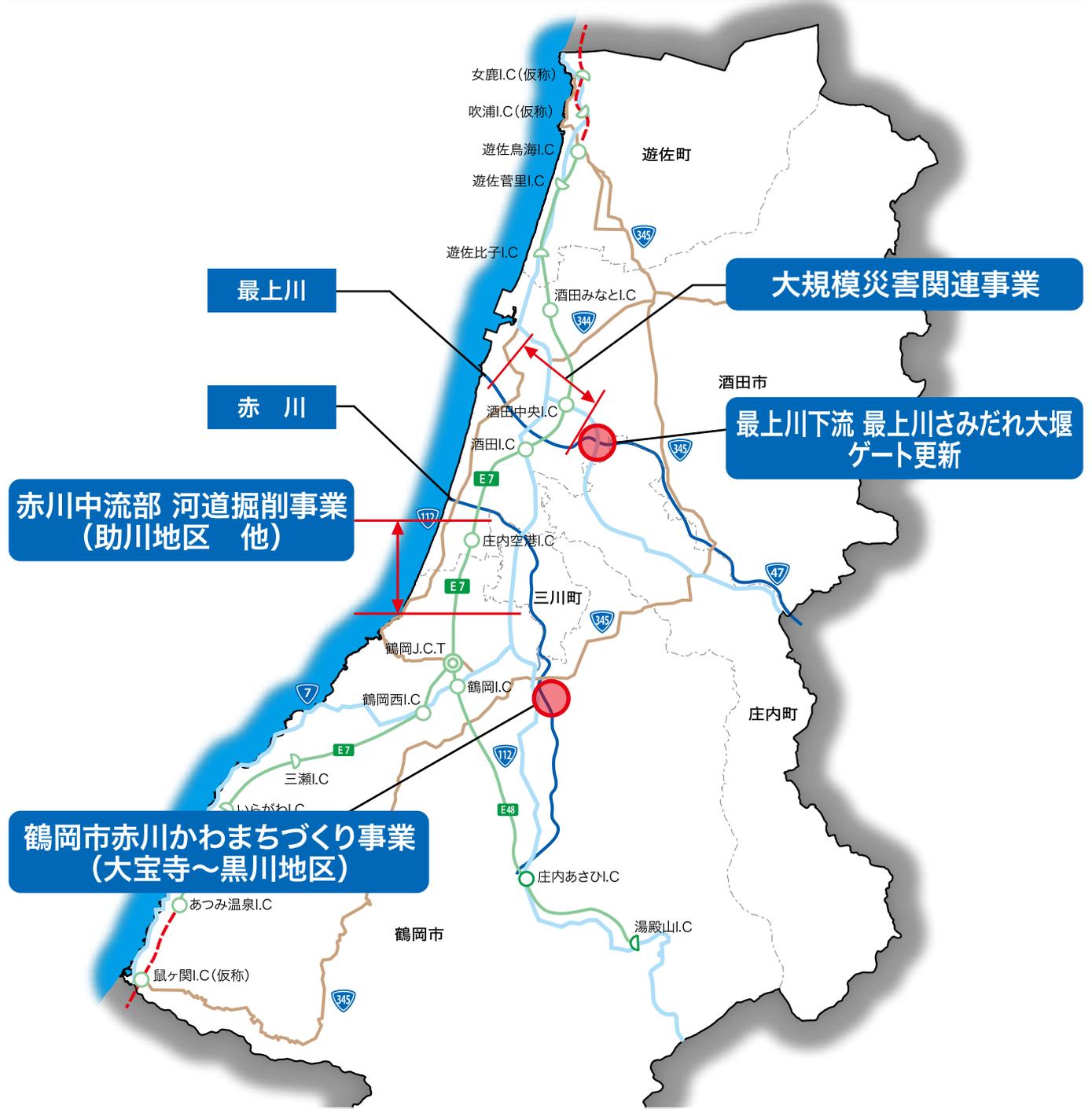


注) 工事諸費等を除く金額

注) 河川・道路ともに「維持修繕関係事業費」、「災害復旧費」、「雪寒地域道路事業費」を含まない。

酒田河川国道事務所 河川事業の概要

河川事業



◎洪水被害から住民の生命と財産を守る

- 最上川下流大規模災害関連事業【落野目地区～飛鳥地区】
- 赤川中流部河道掘削事業【助川地区 他】

◎自然との交流・賑わい・健康づくりのレクリエーション拠点

- 鶴岡市赤川かわまちづくり事業【大宝寺～黒川地区】

◎河川の維持・管理

- 水利権、河川敷利用の適切な管理と調整
- 不法投棄の監視と対応
- 管理施設の点検・補修
- 水文(水位・流量・雨量)の観測、データ提供
- 最上川さみだれ大堰ゲート更新
- 水質の監視と対応
- 堤防除草
- 出水時等における状況把握巡視

令和6年7月出水の再度災害防止に向けて（最上川下流・中流 緊急治水対策プロジェクト）

○流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる流域治水を推進する

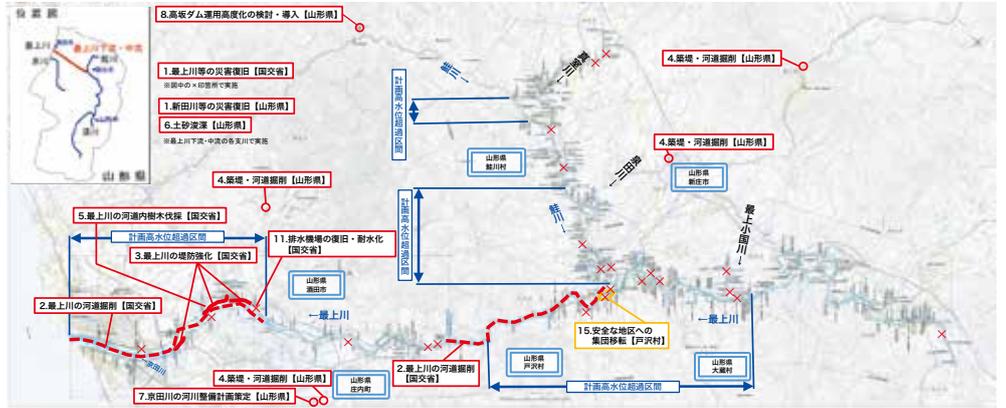
- 最上川及び支川鮭川では、令和6年7月25日からの大雨により、約60kmにわたって計画高水位を超過し、堤防越水などにより甚大な被害が発生したことを踏まえ、国、県、沿川市町村等が連携し、河川整備及び災害復旧等を集中的に実施するとともに、あらゆる関係者が連携した流域治水を推進し、令和6年7月と同規模の洪水に対して、堤防からの越水による浸水被害を防止します。
- 気候変動による更なる降雨量の増大に対応するため、河川整備計画の見直しを図ります。

■事業期間 令和6年度～令和11年度
 ■事業費 国：約450億円程度、県：約200億円程度
 ※県事業費は災害復旧費等を計上
 ■目標 令和6年7月と同規模の洪水に対して堤防からの越水による浸水被害を防止する。

■**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 ○河川区域での対策
 1～8は右図参照
 9.流域内の洪水調節機能の向上に向けた可能性検討【国交省】
 10.砂防堰堤の整備【国交省】
 11.排水機場の復旧・耐水化【国交省】
 ○集水域での対策
 12.北沢地区の災害復旧【林野庁】
 13.砂防堰堤等の整備【山形県】
 14.森林整備、治山対策、水田貯留（田んぼダム）【林野庁・農水省・山形県・市町村】

■**被害対象を減少させるための対策**
 ○氾濫域での対策
 15.安全な地区への集団移転【戸沢村】
 16.災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、市町村】
 17.雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅）【尾花沢市】

■**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 ○氾濫域での対策
 18.水害リスク情報の充実と普及【国交省・山形県・市町村】
 19.住民参加型による防災訓練の実施【国交省・山形県・市町村】
 20.要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【市町村】
 21.講習会等によるマイ・タイムライン普及促進【国交省・山形県・市町村】
 22.早期復旧・復興のための拠点づくり【大蔵村、学・民】



	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1.最上川等の災害復旧【国交省】	■	■	■	■	■	■
2.最上川等の災害復旧【国交省】	■	■	■	■	■	■
3.最上川の堤防強化【国交省】	■	■	■	■	■	■
4.堤防・河運掘削【山形県】	■	■	■	■	■	■
5.最上川等の河運内排水設備【国交省】	■	■	■	■	■	■
6.土砂対策【山形県】	■	■	■	■	■	■
7.最上川の河運内排水設備【国交省】	■	■	■	■	■	■
8.高床ダム運用高度化の検討・導入【山形県】	■	■	■	■	■	■
9.流域内の洪水調節機能の向上に向けた可能性検討【国交省】	■	■	■	■	■	■
10.砂防堰堤の整備【国交省】	■	■	■	■	■	■
11.排水機場の復旧・耐水化【国交省】	■	■	■	■	■	■
12.北沢地区の災害復旧【林野庁】	■	■	■	■	■	■
13.砂防堰堤等の整備【山形県】	■	■	■	■	■	■
14.森林整備、治山対策、水田貯留（田んぼダム）【林野庁・農水省・山形県・市町村】	■	■	■	■	■	■
15.安全な地区への集団移転【戸沢村】	■	■	■	■	■	■
16.災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、市町村】	■	■	■	■	■	■
17.雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅）【尾花沢市】	■	■	■	■	■	■
18.水害リスク情報の充実と普及【国交省・山形県・市町村】	■	■	■	■	■	■
19.住民参加型による防災訓練の実施【国交省・山形県・市町村】	■	■	■	■	■	■
20.要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【市町村】	■	■	■	■	■	■
21.講習会等によるマイ・タイムライン普及促進【国交省・山形県・市町村】	■	■	■	■	■	■
22.早期復旧・復興のための拠点づくり【大蔵村、学・民】	■	■	■	■	■	■

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

住民の生命と財産を守る（最上川下流大規模災害関連事業）

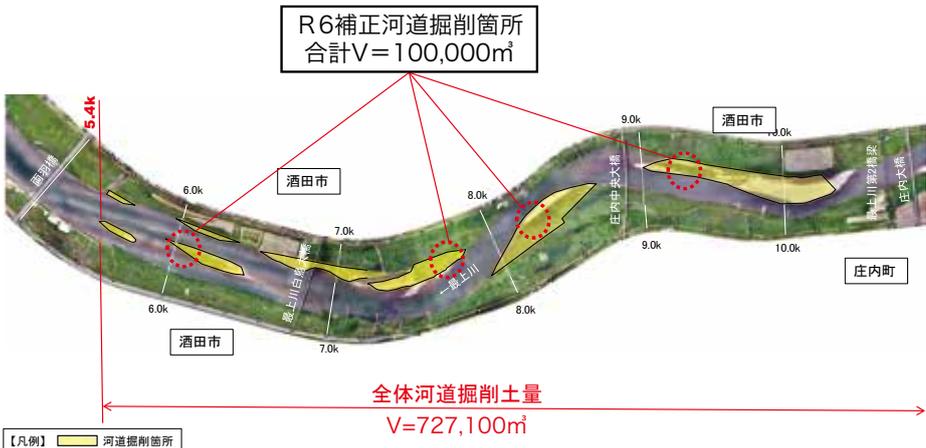
最上川下流部において河道掘削を実施

- 令和6年7月25日からの大雨により、計画高水位を超える出水となったことから、再度災害防止のために、大規模災害関連事業として河道掘削を令和6年度～令和11年度までの6年間で実施。
- 全体の河道掘削量は、約73万m³。
- R6補正（令和7年度実施）での河道掘削土量は、約100,000m³を予定

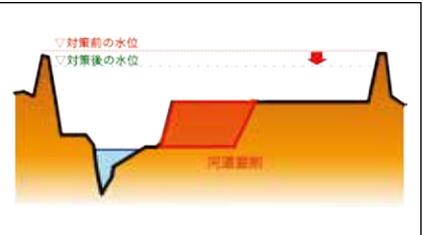
- 事業箇所：酒田市落野目～庄内町榎木
- 事業着手：令和6年度
- ※令和6年度（補正）
大規模災害関連事業費：1,430百万円

〈R6補正（令和7年度実施）実施内容〉

- 河道掘削 V=100,000m³（予定）



河道掘削イメージ



住民の生命と財産を守る(赤川中流部河道掘削事業他)

赤川中流部において河道掘削を実施

赤川中流部において、堤防が決壊した場合、拡散型の氾濫形態により、広範囲に甚大な被害をもたらす恐れがあります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、洪水時の水位低下を目的に河道掘削を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

※掘削土については、他機関との調整により、盛り土材として有効利用を図ります。

- 事業箇所：山形県酒田市黒森～鶴岡市文下
- 事業着手：平成11年度

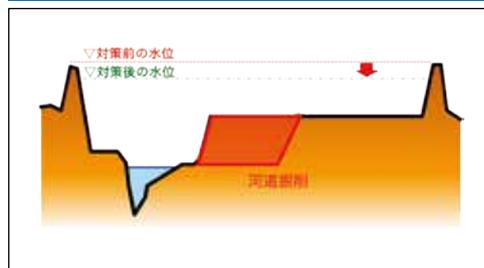
※令和7年度
赤川河川改修事業費：445百万円

〈令和7年度実施内容〉

○河道掘削 V=5,000m³ (予定)



河道掘削イメージ



自然との交流・賑わい・健康づくりのレクリエーション拠点(鶴岡市赤川かわまちづくり事業)

「まち」と「水辺」が融合した空間の整備による地域の活性化

鶴岡市は、「恵まれた自然を活かし、自然と共に生きるまちづくり」を目標に掲げ、市民が自然と直接触れ合え、憩いと潤いのある親水空間を創出するための整備を推進しています。

鶴岡市と連携し、河畔整備や親水護岸、管理用通路等の整備を行い、地域の賑わいの創出を図ります。

- 事業箇所：山形県鶴岡市大宝寺地区 (下流域エリア) ～鶴岡市黒川地区 (上流域エリア)
- 事業着手：令和2年度

※令和7年度 赤川総合水系環境整備事業費：67百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 親水護岸 (下流域エリアにて実施予定)
- 管理用通路 (上流域エリアにて実施予定)



【下流域エリア】



最上川下流 最上川さみだれ大堰ゲート更新

最上川さみだれ大堰は完成後、約30年経過しようとしており、老朽化してきているゲートのゴム袋体の更新及び、土木施設の修繕をするものです。

- 事業箇所：山形県東田川郡庄内町清川地内（左岸）
山形県酒田市柏谷沢地内（右岸）
- 事業着手：令和6年度
※令和7年度 最上川下流河川工作物関連
応急対策事業費：583百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 3号ゲートのゴム袋体更新
- 2号ゲートのゴム袋体製作
- 2号ゲート土木施設修繕



令和5年6月撮影 UAV写真（下流から）



洪水被害の防止、適正な河川の利用に向けて

- 洪水を安全に流下させるため、堤防等施設の機能維持に係る点検・整備、また河川水の利用や河川区域等の適正な利用等が図られるよう、調整やパトロールの実施など適正な維持管理に努めています。



河川パトロール



堤防や施設の点検



堤防除草



河道内樹木の伐採

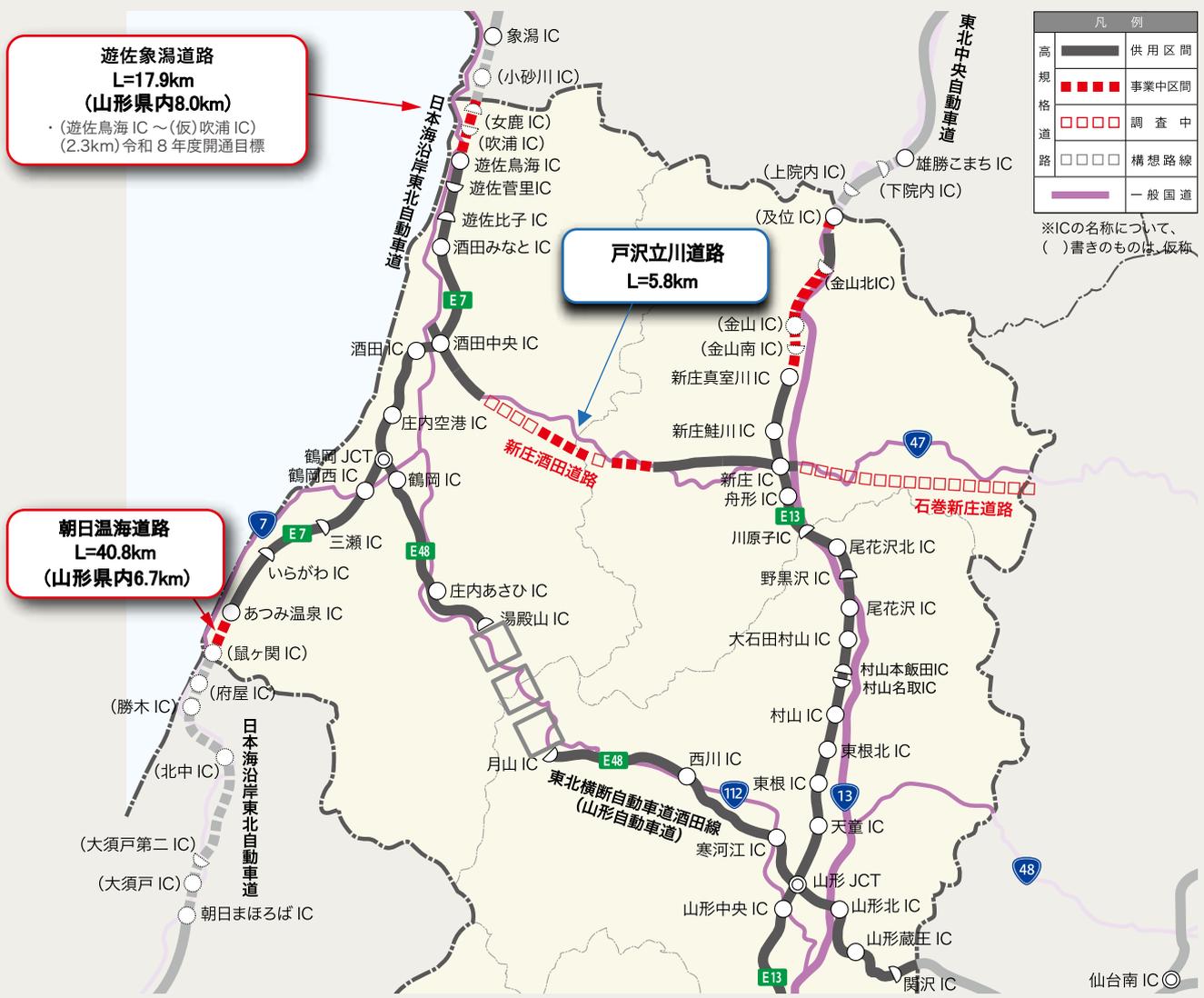


堰・水門等の施設の管理



河川の流量の調査等

庄内地方の高規格道路ネットワーク整備



◎広域交流の促進、地域活性化を支援する高規格道路ネットワークの整備

- 高規格道路 ～日本海沿岸東北自動車道～
朝日温海道路、遊佐象潟道路
- 高規格道路 ～新庄酒田道路～
戸沢立川道路

◎快適で円滑な交通の確保

- 渋滞対策
- 交通事故対策事業 「事故ゼロプラン」の対策

◎道路の維持管理

- 道路巡回、除草、道路施設の維持、補修
- 冬期間の道路除雪、防雪柵の設置等

広域交流の促進、地域活性化を支援する高規格道路ネットワークの整備

あさひ あつみ 国道7号 朝日温海道路 (山形県内6.7km)

朝日温海道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送路の確保、高速ネットワーク形成による第三次救急医療施設へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とする道路です。



- 事業箇所: 新潟県村上市～山形県鶴岡市
- 事業着手: 平成25年度
- ※令和7年度事業費: 4,050百万円

- 〈令和7年度実施内容〉**
- 道路設計
 - 支障移転補償
 - 改良工事
 - トンネル工事

道路事業

ゆざぎさかた 国道7号 遊佐象潟道路 (山形県内8.0km)

遊佐象潟道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成し、秋田・山形県境地域の第三次救急医療施設へのアクセス性向上、さらには災害時の代替路確保を図るとともに、高速ネットワークを形成し広域的な交流・連携の促進を図ることを目的とする道路です。



- 事業箇所: 山形県飽海郡遊佐町～秋田県にかほ市
- 事業着手: 平成25年度
- ※令和7年度事業費: 7,820百万円

- 〈令和7年度実施内容〉**
- 道路設計
 - 用地補償
 - 支障移転補償
 - 改良工事
 - 橋梁工事



(仮)吹浦高架橋イメージパース 遊佐島ICから象潟方面を望む (至)新潟

快適で円滑な交通の確保（渋滞対策）

山形県渋滞対策推進協議会

山形県内の慢性的な渋滞を解消し円滑な交通流を確保するため、関係機関が連携し渋滞対策について総合的な整備計画を策定することを目的として実施しております。

取組事例：令和6年度赤川花火大会時の渋滞対策

花火大会の渋滞緩和に向けて関係者と一緒
に時間分散による渋滞
対策やX(旧Twitter)に
よる交通状況の情報発信
に取り組んでおります。
令和6年度は花火大会
のチケット郵送封筒
に渋滞回避のチラシを
同封し、Xでの配信を来
場者へ周知し、渋滞対策
に取り組みました。

【R6渋滞回避プロジェクト配布チラシ】



【Xで月山道路等の交通状況を動画で4箇所/時間配信】



快適で円滑な交通の確保（交通事故対策事業）

事故危険区間重点解消作戦（事故ゼロプランの策定）

事故ゼロプランの進め方

交通事故対策

第三者委員会
地方公共団体等

意見

事故の危険性が高い
特定の区間を明確化



「事故危険区間」抽出の考え方

事故危険区間

A事後対策系

- ① 死傷事故率が全国平均以上の区間を抽出
- ② 重大事故につながる人・自転車に係る事故が発生した区間を抽出

B未然防止系

- ① 通学路で狭小幅員の区間を抽出
- ② 日頃のヒヤリハットが顕著な区間を抽出

対策実施事例

国道112号鶴岡市朝陽町地区 付加車線整備



▲対策前(令和2年8月撮影)



▲対策後(令和4年3月撮影)

国道7号酒田市京田地区 事故対策事業



▲対策前(令和4年11月撮影)



▲対策後(令和5年7月撮影)

交通対策事業実施箇所



番号・路線	事業箇所	整備概要	R7事業内容
①国道7号	福岡交差点改良 (酒田市)	・付加車線の整備等	調査設計、改良工事
②国道7号	興屋地区事故対策 (酒田市)	・付加車線及び歩道の整備	調査設計、改良工事、公共補償
③国道7号	白木地区事故対策 (遊佐町)	・中央帯の整備	調査設計、改良工事
④国道7号	白木地区交差点改良 (遊佐町)	・右折レーンの延伸等	調査設計、改良工事
⑤国道7号	道の駅「鳥海」 (遊佐町)	・道の駅(移転) トイレ・駐車場・ 休憩施設・道路情報施設	用地補償、改良工事
⑥国道112号	東原町地区事故対策 (鶴岡市)	・付加車線の整備	調査設計、改良工事
⑦国道7号	道の駅「あつみ」 (鶴岡市)	・道の駅(移転) トイレ・駐車場・ 休憩施設・道路情報施設	用地補償、改良工事、 公共補償

【国道7号】^{ふくおか}福岡交差点改良

○おばこ大橋から秋田に向かう交差点流入部が下り勾配で左折車両の後続車の急減速・停止による追突事故が多発しています。

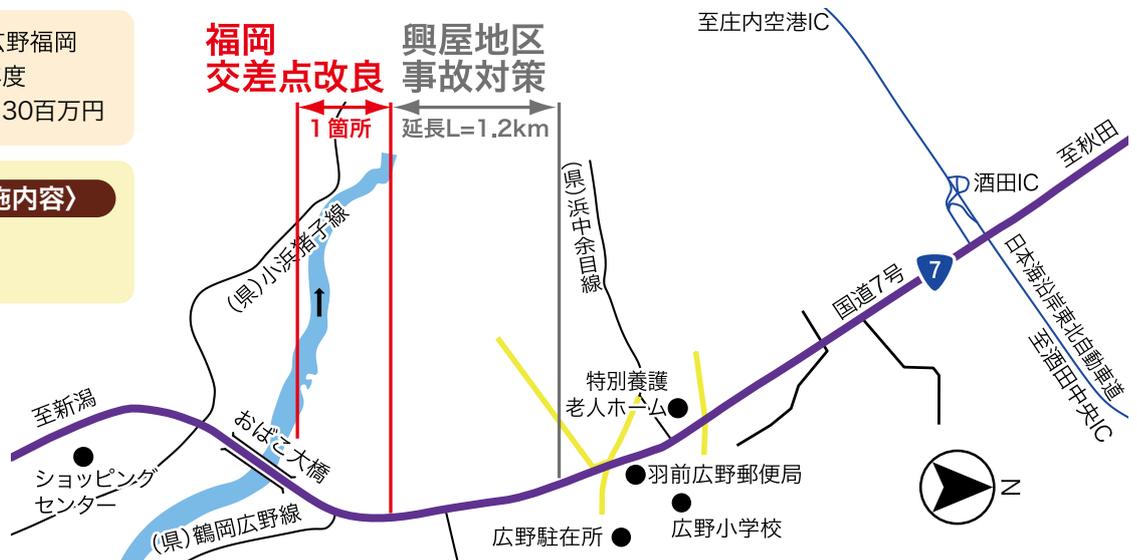
付加車線の整備、視認性向上によるカラー舗装等による交差点改良を行い、交通事故の削減・交通の円滑化を図ります。



- 事業箇所: 酒田市広野福岡
- 事業着手: 令和2年度
- ※令和7年度事業費: 30百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 調査設計
- 改良工事



【国道7号】興屋地区事故対策

- 交差点や沿道出入口付近での急減速による追突事故が多発しています。
- 混雑度が高く旅行速度が著しく低下する区間として主要渋滞箇所指定されています。

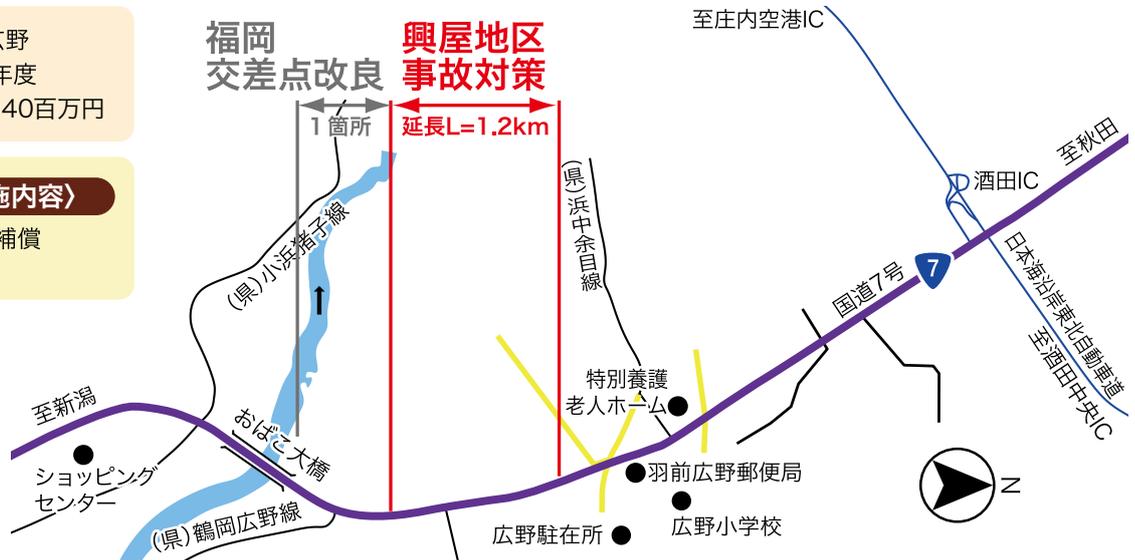
中央分離帯の設置、自歩道整備(下り線)を行い交通事故削減・交通の円滑化を図ります。



- 事業箇所: 酒田市広野
- 事業着手: 平成28年度
- ※令和7年度事業費: 40百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 調査設計
- 公共補償
- 改良工事



【国道7号】白木地区事故対策

- 鳥海南工業団地が立地しており、大型車の交通量や沿道施設からの出入りも多い箇所です。
- 工業団地や沿道施設出入りによる駐停車車両への追突事故、冬期間の降雪により狭小となりすれ違い時の衝突、正面衝突が発生しています。

中央帯設置により、沿道施設出入りに伴う追突や正面衝突、冬期の車両すれ違いが容易になることで交通事故の削減・交通の円滑化を図ります。

- 事業箇所: 遊佐町藤崎茂り松
- 事業着手: 令和6年度
- ※令和7年度事業費: 20百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 調査設計



【国道7号】^{しろき}白木地区交差点改良

- 国道7号から県道への右折交通量の増加により既設右折レーンからはみ出して車両が滞留し、直進車への走行阻害が発生しています。
 - 県道から国道7号への左折時に大型車両がふくらむことによる危険事象が発生しています。
- ↓
- 右折レーンの延伸や隔切りの改良により交通事故の削減、交通の円滑化を図ります。

- 事業箇所: 遊佐町比子字白木
- 事業着手: 令和4年度
- ※令和7年度事業費: 90百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 調査設計、改良工事



【国道112号】^{ひがしはらまち}東原町地区事故対策

- 右左折交通の増加により、既設右左折レーンからはみ出して車両が滞留し、直進車の走行阻害や減速に伴う追突事故が発生しています。
 - 沿道商業施設の出入口付近では、出入車両の右左折により、本線走行車両への走行阻害が生じ、追突事故や、歩行者、自転車の乱横断による危険事象が発生しています。
- ↓
- 右左折レーンの設置・延伸や中央分離帯の設置により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。

- 事業箇所: 鶴岡市東原町
- 事業着手: 令和3年度
- ※令和7年度事業費: 359百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 調査設計
- 改良工事



【国道7号】道の駅「鳥海」(移転)

- 山形県沿岸部を縦断する国道7号及び日本海沿岸東北自動車道では、道路利用者への道路情報提供及び、近隣に24時間利用可能なトイレを有した休憩施設が不足している。
- 当該箇所は鳥海山麓で自然豊かな遊佐町において、新たな道の駅を移転整備し、地域の拠点として位置づけられている。

本事業は、24時間利用できるトイレと駐車場、休憩施設が一体となった簡易パーキング（道路情報提供施設）を整備し、道路利用者へのサービス向上を図るものである。

- 事業箇所: 遊佐町北目
- 事業着手: 令和6年度
- ※令和7年度事業費: 120百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 用地補償
- 改良工事



【国道7号】道の駅「あつみ」(移転)

- 山形県沿岸部を縦断する国道7号及び日本海沿岸東北自動車道では、道路利用者への道路情報提供及び、近隣に24時間利用可能なトイレを有した休憩施設が不足している。
- 当該箇所は地域資源、地域の魅力を有する温海地域で鶴岡市において、新たな道の駅を移転整備し、地域拠点として位置づけられている。

本事業は、24時間利用できるトイレと駐車場、休憩施設が一体となった簡易パーキング（道路情報提供施設）を整備し、道路利用者へのサービス向上を図るものである。

- 事業箇所: 鶴岡市鼠ヶ関
- 事業着手: 令和7年度
- ※令和7年度事業費: 150百万円

〈令和7年度実施内容〉

- 用地補償
- 改良工事
- 公共補償



道路の維持管理

道路巡回、道路施設の点検、補修など適切な道路管理を行い、道路空間を良好に保ち、道路を安全安心で快適に利用できるよう、日夜努めています。

道路の維持管理

良好な状態を保つ

道路の機能保持



道路巡回



除草



緊急的な路面補修



道路照明灯の更新



防災対策(斜面崩壊の防止)



冬タイヤ装着確認と指導

道路の維持管理(冬期の道路管理)

○一般除雪、拡幅除雪、運搬排雪、雪底処理等を行い、冬期交通の確保に努めています。



除雪(道路の平坦化)



雪底処理



歩道除雪



運搬排雪(道幅を広げる)



凍結抑制剤散布



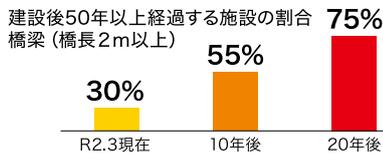
雪崩危険箇所点検

安全・安心を支える道路管理(老朽化への対応)

【道路施設老朽化対策】

○橋梁・トンネル等の道路施設について、適切に点検・修繕を実施するメンテナンスサイクルにより、インフラの長寿命化を図ります。

【急速に進行するインフラの老朽化】



国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)より



【山形県道路メンテナンス会議】～国、県、市町村、県道路公社、ネクスコ東日本～

○県内の各道路管理者が連携し、道路施設の老朽化対策を進めるため、平成26年5月30日、「山形県道路メンテナンス会議」を設立しました。

【メンテナンスサイクル】



メンテナンスサイクルを持続的に回し、国民生活の安全かつ円滑な活動の確保及び効果的な道路管理を実現するため、技術研修会の開催や広報活動を実施しています。



山形県道路メンテナンス会議



橋梁点検研修
国道112号長崎大橋での高所作業車による近接目視点検 R5.9.17



新技術活用研修
国道112号長崎大橋での新技術活用の体験実習 R5.11.16

安全で安心な道路交通を支える(道の駅)



庄内道の駅連携協議会発足

平成28年度に庄内地域にある道の駅5駅が連携する協議会を設立し、様々な取り組みを協働して実施しております。

庄内道の駅連携協議会の取り組み

道の駅との連携(取り組み事例)



庄内道の駅共通のチラシ等のツールを作成し、各道の駅周辺のイベントや観光情報等の情報を発信します。

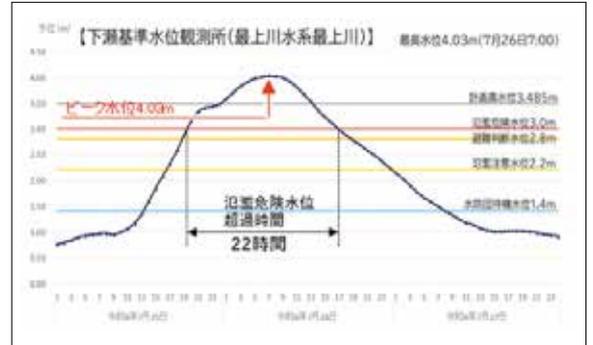
イベントチラシ

- 電話番号
- 道の駅「月山」 (0235)53-3411
 - 道の駅「あつみ」 (0235)44-3211
 - 道の駅「鳥海」 (0234)71-7222
 - 道の駅「庄内みかわ」 (0235)68-2500
 - 道の駅「しょうない」 (0234)56-3039

危機管理

最上川下流流域で、全ての水位観測所で既往最高水位を超える観測史上第1位の水位を記録

- ◎令和6年7月25日から前線の影響により線状降水帯が発生し、秋田県と山形県を中心に記録的な大雨となり、庄内地方に降雨が集中し、累加雨量は4つの雨量観測所で観測史上第1位を記録し、坂本雨量観測所で394mm、白糸の滝雨量観測所で333mm、酒田雨量観測所で332mm、海ヶ沢雨量観測所で360mmを記録しました。
- ◎気象庁は、大雨特別警報を2回(酒田市)、記録的短時間大雨情報を2回(酒田市南部付近、酒田市北部・遊佐町付近)発表しました。
- ◎酒田河川国道事務所では、水防警報や洪水予警報を発令するとともに、鶴岡市・酒田市・三川町・庄内町・遊佐町の首長と計22回に及ぶホットラインを実施し、地域住民の防災行動を支援し、被害の軽減に努めました。



最上川下流右岸 3.0k 付近



	下瀬水位観測所	
	生起日	ピーク水位(m)
第1位	令和 6年7月26日	4.03
第2位	昭和44年8月 8日	3.67
第3位	平成30年8月 6日	3.45
第4位	平成16年7月17日	3.15
第5位	平成30年8月31日	3.13

Topic トピック

洪水に対してこれまでの河川整備が効果を発揮

赤川河道掘削及び月山ダムによる水位低減効果 (令和6年7月)

赤川流域の横山地点では、河道掘削により約0.9m、月山ダムの洪水調節により約1.1m、合わせて約2mの水位低減効果があったと推測されます。

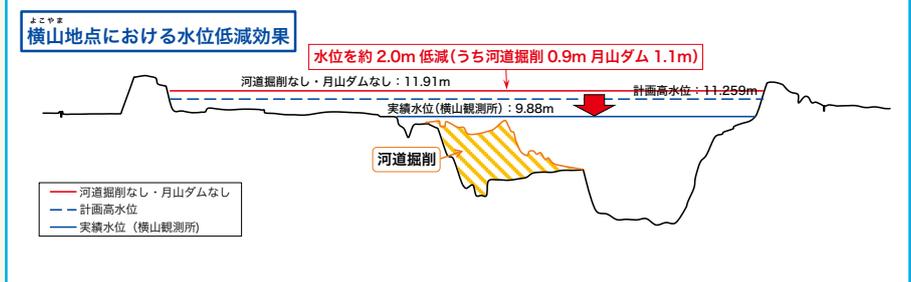
河川整備実施箇所位置図



出水時の状況



水位低減効果



※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。

災害時の支援

災害で被災した地方公共団体等の早期復旧を支援する「緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)」として、自治体と連携し情報収集や情報提供を行う「災害対策現地情報連絡員(リエゾン)」の派遣や、被災状況の把握など早期復旧を支援する「緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)本体を現地に派遣するなどの取組を行っています。TEC-FORCEは被災状況に応じ、東北のみならず、全国の地方整備局等とも連携し職員を派遣する体勢を整えています。



R6.1能登半島地震(石川県鳳珠郡穴水町)
TEC-FORCE 活動状況(被災状況調査)



R6.1能登半島地震(石川県珠洲市)
TEC-FORCE 活動状況(技術的アドバイス)

いざというときに備えて

災害や事故に備え、日頃から地元自治体や関係機関との連絡調整や訓練を通じ、連携を図っています。



酒田市水防訓練での
排水ポンプ車による作業訓練



河川の重要水防箇所の合同巡視

地域のボランティア活動による良好な河川・道路環境の創出

地域の大切な財産でもある河川、道路において、清掃活動や、花壇の手入れ、歩道の除雪などの地域の皆様のボランティア活動により、良好な環境の創出にご協力をいただいております。



港南小(現:亀ヶ崎小)による河川清掃
※H26 河川功労者として表彰



国道7号での植樹帯への花植え
鶴岡市由良自治会

学習支援・現場見学

酒田河川国道事務所が担当している河川、道路について、地域の皆様に理解を深めていただく取り組みとして、工事現場の体験会の受け入れ、学習支援を行っています。



工事現場体験会



河川での学習支援
水生生物調査

河川情報の提供

雨や水位の情報提供のほか、河川監視カメラの画像や時系列洪水氾濫シミュレーションもホームページで公開しています。

川の防災情報

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

パソコン・スマートフォン共通
<https://www.river.go.jp/>



河川の水位情報は「地デジ」でご覧いただけます

【地デジ操作方法】

NHK→TVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「防災・生活情報」を選び、さらにメニューの「河川水位・雨量」を選択してください。

R I V E R R O O M
川のことなら何でも相談できます！

川の相談室

川のことなら、何でも(質問、意見、苦情など)相談を受けていますので、お気軽にお電話ください。

TEL 0234-27-3471

●受付時間/平日は午前8:30から午後5:00まで、時間外及び土、日、祝祭日は留守番電話での対応となっています(事務所ホームページでも相談できます)

道路情報の提供

道路の異状は「道路緊急ダイヤル」へ

道路緊急ダイヤル(無料) 緊急通報 #9910へご一報ください 24時間受付

「道路緊急ダイヤル」は道路の異状に関して利用者の皆様から情報をお寄せいただき、迅速な対応につなげるものです。国道だけではなく、高速道路・県道・その他の道路の情報も受け付けております。(※24時間365日対応しております)

R O A D R O O M
道路のことなら何でもおまかせ下さい！

道の相談室

「道の相談室」は、道路に関するあらゆる相談、意見、苦情、質問などを受け付ける窓口です。道路利用者や地域住民の声を道路行政に反映することを目的としています。寄せられた相談やご意見は、正確、迅速な対応に努めると同時に、将来の道路事業に的確に反映することを目標としています。

TEL 0234-25-2300

●受付時間/平日は午前9:00から午後5:00まで、時間外及び土、日、祝祭日は連絡員の対応となっています(事務所ホームページでも相談できます)

パソコンやスマホから河川の情報、道路の路面状況、交通規制情報などを知ることができます。

ホームページが見やすくなりました！

パソコンから <https://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>

スマートフォンからも閲覧可能です

※スマートフォン未対応のページもございます。



酒田河川国道事務所 沿革

1980年(昭和55年)
新庁舎(現庁舎)完成、移転

2001年(平成13年)
国土交通省東北地方整備局
酒田工事事務所へ移行

2003年(平成15年)
国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所へ改称



▶ 酒田河川国道事務所 エックス



国土交通省東北地方整備局 酒田河川国道事務所

〒998-0011 山形県酒田市上安町一丁目2-1 TEL.0234-27-3331(代) URL <https://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>

河川担当

- 【酒田地区最上川管理室】
〒998-0011 山形県酒田市上安町一丁目2-1 TEL.0234-25-0163
- 【赤川出張所】
〒997-0011 山形県鶴岡市宝田二丁目3-55 TEL.0235-23-2032
- 【飽海出張所】
〒999-6811 山形県酒田市柏谷沢字内山40-1 TEL.0234-57-2077

道路担当

- 【酒田国道維持出張所】
〒998-0004 山形県酒田市豊里字南沼ノ上11-3 TEL.0234-34-2331
- 【鶴岡国道維持出張所】
〒997-0043 山形県鶴岡市東新斎町11-15 TEL.0235-22-4738
- 【月山国道維持出張所】
〒997-0331 山形県鶴岡市板井川字宮ノ下325-1 TEL.0235-57-5011